2026 年 8 月 18 日

これまでに当院で僧帽弁形成術を施行された患者様へ

当院では、僧帽弁形成術における臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をもとに行われるものですが、この案内をお読みになりご自身がこの研究の対象にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自身の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記録の担当者までご連絡をください。

【対象となる方】
2019 年 1 月から 2026 年 7 月までに当院で僧帽弁形成術を施行された患者様
【研究課題名】
僧帽弁後尖病変における外科治療成績の検討
【研究責任者】
群馬県立心臓血管センター　心臓血管外科　山田靖之
【研究の目的】
僧帽弁閉鎖不全症に対する外科的弁形成術において、後尖病変は最も修復成功率が高く、遠隔成績も極めて良好な病態です。その治療においては切除断端縫合による形成、人工腱索を用いた形成、最小切除＋人工腱索を用いた形成のアプローチがあります。いずれも高い治療効果を誇りますが、弁の形態や病変の広がりによって最適解が異なると言われています。その最適解を明らかにすることがこの研究の目的です。
【利用するカルテ情報・資料】
診療録、年齢、性別、身長、体重、術前に施行された各種検査結果（採血、心電図、心エコー図検査、CT 検査など）、手術記録、術後の外来での経過の記録などを使用いたします。
【個人情報の取り扱い】
登録されたデータは、お名前、住所などの個人を特定できるような状態で使用することはありません。研究の成果を学会や学術雑誌に公表する場合は、個人が特定できないような形で使用いたします。

【問い合わせ】
群馬県立心臓血管センター　心臓血管外科
担当医師　山田　靖之　027-269-7455（代表）